

アート・ワークショップ実践による 文化的・教育的環境の活性化

最終更新日：2015年8月20日

【プロジェクト代表者】
美術教育講座
講師
本田 代志子

キーワード

・アート ・ワークショップ ・学校 ・美術館 ・アウトリーチ

プロジェクトの内容（目的・方法・結果と意義）

目的

「アート・ワークショップ実践による文化的・教育的環境の活性化」は、宗像市、福津市地域を中心に、次の3点を目的とする実践的プロジェクトである。

- (1) アート・ワークショップにより、地域の芸術体験の機会を拡大させること
- (2) ワークショップ実践参加により、学生の社会での実践力を養うこと
- (3) 美術館のアウトリーチの利用により、学校や地域の図画工作・美術教育の支援を進めること

実践内容

- ① 地域と学生の協働による、幅広い世代を対象としたアート・ワークショップの実践
大人、子育て世代など、地域でアートを体験する機会の少ない人を対象とするアートワークショップを開催。
- ② 学校や地域における美術館のアウトリーチ活用に関する調査・実践
福岡市、宗像市、福津市を主とする小・中学校の教員へのアンケートやインタビュー等により、教育現場における図画工作、美術教育の実状を把握し、アウトリーチに関するニーズを収集。体験キットを試作し、教員の声を取り入れながら検証を進める。

成果の応用可能性（私たちの活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。）

宗像市、福津市地域での
芸術体験の機会拡大

ワークショップ実践による
学生の実践力向上

美術館のアウトリーチ活動と
学校の図画工作・美術教育の連携

地域資源を活用したプロジェクトによる
ソーシャル・キャピタルの蓄積

地域、学校、大学
連携・支援体制の強化

このプロジェクトの形成に寄与した制度等

- 平成27年度広域連携による教育活性化プロジェクト
ー福岡教育大学COC事業ー

プロジェクト構成員（所属・職名・氏名・役割分担）

- 福岡教育大学美術教育講座・講師・本田代志子
地域におけるアート体験の文化的・教育的環境に関する調査・実践および研究総括
- 福岡教育大学幼児教育講座・准教授・笠原広一
アート・ワークショップの実践研究
- 福岡市美術館・主任学芸主事・鬼本佳代子
学校や地域のニーズに対応したアウトリーチ活動の調査・実践